



令和元年7月号 Vol.24  
情報メディア教育センター

## 文月、July、祇園祭。

みなさん、京都は好きですか？6年制の1・3年生の皆さんは6月の遠足の行先でしたね♪

京都の7月といえば、祇園祭。古くは、<sup>ぎおんごりようえ</sup>祇園御霊会と呼ばれ、貞観11年(869)に京の都をはじめ日本各地に疫病が流行したとき、当時の国の数66ヶ国にちな



んで66本の<sup>ほこ</sup>鉾を立て、祇園の神を祀り、さらに神輿を送って、災厄の除去を祈ったことに始まります。耳をすませばコンコンチキチキと<sup>ぎおんはやし</sup>祇園囃子が聞こえてくるようです。

さあ、1年も半分が過ぎ、梅雨が明けるといよいよ夏到来！

## 新しい司書スタッフが加わりました！ みなさん、よろしくねー。

こんにちは、<sup>おおさこ</sup>大迫です。旅行すること、寺社巡り（御朱印は礼儀をわきまえて頂いています）が大好きです。これから皆さんが図書やメディアを通してより良い学びを吸収し、実践していくようEMCから応援・サポートしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

自己紹介を兼ねて、夏の読書におすすめの本をご紹介します。



高校生活最高の思い出となるはずの夏の合宿で明かされていく、驚きの真実とは…。夢と現実の狭間のような、儚さの際立つ描写に注目です！  
単行本の、絵本作家・酒井駒子さんの描く装丁に惹かれて手に取ったのですが、図らずも夏にぴったりの小説でした。

『蛇行する川のほとり』 恩田陸【著】



文化庁が文化遺産に推薦していた「百舌鳥・古市古墳群」が、ユネスコ世界遺産委員会で世界文化遺産に登録される見通しとなったニュースを見た人も多いと思います。  
この本は百舌鳥・古市古墳群の古墳巡りガイド本です。古墳近くの名所や名店も掲載されているので用語解説を読み読み、この本片手にお気に入りの古墳を見つける旅に出たくなります。実物を自分の目で見るのってわくわくしますよ★

『ザ・古墳群』 「ザ・古墳群」制作委員会【編】

## 新着図書ピックアップ

『しびれる短歌』

東直子 穂村弘【著】

本書は、二人の歌人東直子と穂村弘が軽快な対話で、恋、食べ物、家族、動物、お金などのテーマに沿って短歌を紹介しています。なかでも「時間」を歌ったものは興味深いです。砂時計の形はキュッとしまったところを「今」と表現したり。カレンダーをめくる行為は、なんでもないことですが、時間が見えると解釈しています。100年前の祖父母、そして父母もまた自分たち夫婦も、時代は違うが、同じ場所を歩いているという歌。神から見て時間が透けているんです。他に助動詞の活用形（べくべからべくべかりべしべきべけれ）を鼓笛隊の太鼓の音に使う技巧的な作品も面白いです。短歌は小説、映画に劣らず想像力でぐんと広がり、自由な事がよくわかります。（黒川）



『はい！こちら子ども記者相談室デス！』

日学株式会社【監修】

たまに7歳の娘と互いの疑問を言い合う「相談室ごっこ」をします。子どもへの答えが毎回ユニークで、もちろん遠慮のカケラもなく、言葉も経験も「足りないこと」が、複雑な問題に対して良く作用するののかも、と分析しています。世の大人は馬齢を重ねたぶんだけ「物や世間を知ってるんだぜ」と思ってる節もありますが、実は言うほどアテにならないんじゃないかな。さて、この本。京都・亀岡発、子どもが書いて大人が読む月刊紙『かめおか子ども新聞』の、大人気コーナーの書籍化です。「息子にクソババアと言われた」「死ぬのが怖い」「若者が会社を辞める」「結婚ができるか心配」…大人の悩みに、世代の壁を越えたホームラン的な名回答・珍回答の嵐。みんなだったらどんなふうに答えるかな。（内田）



『田園発 港行き自転車（上・下巻）』

宮本 輝【著】



東京、京都、富山の3ヶ所を舞台に紡がれる、家族の物語です。  
15年前に急逝した父の秘密を娘の絵本作家・真帆が探りますが…。京都市の情緒ある街並み、富山県の自然豊かな風景描写に心穏やかになります。だって、黒部川沿いの緑が美しい田園地帯や、雪をかぶった立山連峰が目に見えちゃうんです…。富山県に行きたい！主人公たちのように自転車ツーリングで旧北陸街道や滑川市内を走りたい！との思いに駆られました。  
そして、そんな瑞々しい風景のなかで誠実に生きる登場人物たちの姿に憧れながら読みました。何度も読み直したくなる、おすすめの本です。（大迫）

新着ピックアップは毎月、司書3人がこれはぜひ読んで！と思う本を選びすぐってお届けします。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。

趣味は読書と言いたい・藤崎一臣の

### 本、読んでいこう！ Vol.22

『お金持ちが肝に銘じているちょっとした習慣』 菅原 圭【著】



今回はこの春 鈴鹿中等教育学校・鈴鹿高等学校(中高一貫)保護者会より寄贈いただいた図書の中から紹介します。お金持ちの習慣に関する本です。お金持ちになりたいですね。私もまだ諦めていませんから！

本書は「毎朝、株価をチェックしながら〇〇産の高級コーヒーを飲んで…」っていう話ではなく、また、お金を貯めるための習慣が書かれているわけでもなく、お金持ち=成功者がお金よりも大切にしている「習慣」について書かれています。成功者の物ごとの考え方や捉え方について、特別なことは書かれていません。みなさんが今すぐにも実践できることばかり。日々の生活習慣を改める良いキッカケにもなると思います。

お金持ちが絶対にやらない10の習慣ってのもあります。今の自分を当てはめるとお金貯まらない理由もわかるはずですよ。

また、「なぜ本を読むことが大切なのか」ということがP146に書かれています。普段、本を読まない人にはぜひ読んでほしいところです。(これまで本を読んでこなかった私が言うのですから、その言葉の重みが変わるでしょうか)この部分を読んでから本書を読んでもいいかもしれません。本を読むこともお金持ちになる秘訣ってワケです。まあ…本を読んでこなかった私が物語ってますよね。くぬぬ…。

EMCが完成してから毎年、多くの図書を保護者会より寄贈いただいています。みなさんが将来 立派な人間になってほしいという思いがこもった選書となっています。保護者会の思いをムダにはしけませんよ。さあ、成功者になる準備をしようじゃありませんか！



### 第20回 井上智貴先生おすすめの『R帝国』

「朝、目が覚めると戦争が始まっていた」この書き出しで物語の幕が上がる『R帝国』は、いわゆるディストピア(=暗黒世界、絶望郷)小説と呼ばれるようなジャンルでもあり、さらにはSFのような世界観も展開され、「HP」(Human Phone)と称した人工知能を搭載したスマートフォンなども登場します。電車の中では人々が皆 HP をうつむきながら操作しています。どこかで見覚えのある光景です。

さらにはこんな一文も。「ネット上の膨大な幸せアピール合戦を眺めていると、なぜか気の毒に思えてくる。(中略)他の人に承認してもらうことで、羨ましがってもらうことで、自分達の幸福を補強したくなる」。そして『R帝国』とは一体どの国を表しているのか。ぜひいろいろなことを考えながら読んでみてください。

中村文則【著】 中央公論新社

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンはどこに渡るかな？

## 7・8月の開館予定

7月		8月	
1 月	8:10-18:50	1 木	8:10-16:50
2 火	8:10-18:50	2 金	8:10-16:50
3 水	8:10-18:50	3 土	休館
4 木	8:10-18:50	4 日	休館
5 金	8:10-17:50	5 月	休館
6 土	休館	6 火	休館
7 日	休館	7 水	休館
8 月	8:10-17:50	8 木	休館
9 火	8:10-17:50	9 金	休館
10 水	8:10-17:50	10 土	休館
11 木	8:10-17:50	11 日	休館
12 金	8:10-17:50	12 月	休館
13 土	休館	13 火	休館
14 日	休館	14 水	休館
15 月	休館	15 木	休館
16 火	8:10-17:50	16 金	休館
17 水	8:10-17:50	17 土	休館
18 木	8:10-17:50	18 日	休館
19 金	8:10-17:50	19 月	8:10-16:50
20 土	休館	20 火	8:10-16:50
21 日	休館	21 水	8:10-16:50
22 月	8:10-16:50	22 木	8:10-16:50
23 火	8:10-16:50	23 金	8:10-16:50
24 水	8:10-16:50	24 土	休館
25 木	8:10-16:50	25 日	休館
26 金	8:10-16:50	26 月	8:10-16:50
27 土	休館	27 火	8:10-16:50
28 日	休館	28 水	8:10-16:50
29 月	8:10-16:50	29 木	8:10-16:50
30 火	8:10-16:50	30 金	8:10-16:50
31 水	8:10-16:50	31 土	休館

Emc Navi

## リサイクルフェア&読書感想文課題図書について

図書館の雑誌(バックナンバー)を差し上げます。無料です。タダです。早い者勝ち！



第65回青少年読書感想文全国コンクール課題図書が入りました！がんばれ感想文！

「読書感想文の棚」もカウンター前に開設しています。見てみてね。

### ★中学校の部

- \*『星の旅人 伊能忠敬と伝説の怪魚』 小前 亮 著
- \*『ある晴れた夏の朝』 小手鞠 るい 著
- \*『サイド・トラック 走るのニガテなまほくのランニング日記』  
ダイアナ・ハーモン・アシャー 作/武富博子 訳



### ★高等学校の部

- \*『この川のむこうに君がいる』 濱野 京子 著
- \*『ザ・ヘイト・ユー・ギヴ あなたがくれた憎しみ』  
アンジー・トーマス 作/服部理佳 訳
- \*『ヒマラヤに学校をつくるーカネなしコネなしの僕と、  
見捨てられた子どもたちの挑戦』 吉岡 大祐 著



### 図書館からのお知らせ

●夏休みの長期貸出をおこないます。

7月16日～8月2日の期間に本を借りると、返却日は一律で9月2日になります。

●7月22日～8月31日の夏休み期間中の開館時間は8:10～16:50です。

左のカレンダーをご覧ください。

### 編集後記

最近の夏は天候不順が多いですね。体調などくずしませんよう、また豪雨時の不用不急の外出は控えるよう、無理なく過ごして下さいね。(黒川)

